



万年青(オモト)

# 南部町 議会だより

No. 20

南部町ホームページ <http://www.town.nanbu.yamanashi.jp/>



今年の繁栄を願う神楽舞

## 12月定例会 ・ 臨時会

- ◆ 平成19年度一般会計・特別会計補正予算
- ◆ 常任委員会研修視察報告
- ◆ 5 議員町政を問う

# みんなで築こう 住みよい町を

南部町議会議長 仲 亀 七 郎



新年明けましておめでとございます。

町民の皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素、町民の皆様には議会活動に対し、温かいご理解と絶大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

年が明け、昨年を振り返ってみますと、県知事選挙、県議会議員選挙、特に町長選挙は、新南部町を誕生させ、その初代町長として、20有余年の実績と経験を持った小沢町長の勇退に伴う選挙として、町民の関心も高く、望月町長の誕生を見たとこです。

また、町議会補欠選挙、参議院選挙と、年の前半は選挙で、後半は「ねじれ国会」の中で、「年金、政治とカネ、汚職問題」と、年末に「薬害、新テロ対策特別措置法案」と、国民が今一番求めている生活に対する地域格差の解消や、安心、安全等の

諸問題が、何か置き去りにされ、国民不在の状況が顕著に現れた一年であったと強く感じています。

国内では、北陸、東北関東地方と、頻繁に起きた地震も他人事と思わず「東海地震」の要注意地域として、万全の心構えが必要であります。

幸いにも当南部町はこの一年、町民が心配するような大きな災害、事件もなく無事に過ごすことができました。

しかし、町内事情は町の力とすべき「人口の減少」が急速に進み、「少子高齢化」が顕著に現れてきております。

現在の町の人口は、合併時より約800人も減少し、65歳以上の人が町民の三人に一人という状況です。

新しい年を迎え、地方自治体を取り巻く環境は厳しく、三位一体、地方分権という名の基で地域間格差は益々拡大しております。

当南部町は、従来より

堅実な財政執行で「健全財政」を堅持しており、今後も従来からの財政執行を踏襲し、町民の優先課題を着実に執行していく体制が必用と考えております。

議会といたしましては、こうした厳しい環境を踏まえ「諸課題、諸問題」については現状を直視し、町民の優先課題である福祉政策、少子高齢化対策、定住化政策等を着実に押し進め、新たな南部町の「将来像」に結びつける努力と、効率よい行政を念頭に、町執行部と議会が両輪で、互いの知恵と力を出し合いながら、町政全般に議員全員全力で取り組んで参ります。

町民の皆様方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます、この一年が明るく希望のもてる年となり、町民各位のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

### 南部町議会議員

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|
| 仲 | 望 | 山 | 佐 | 片 | 佐 | 木 | 望 | 佐 | 瀧 | 佐 | 久 | 小 | 堀  | 鍋 | 遠 | 萩 | 内 |
| 亀 | 月 | 口 | 野 | 平 | 野 | 内 | 月 | 野 | 野 | 野 | 田 | 林 | 之内 | 田 | 藤 | 原 | 田 |
| 七 | 昭 | 茂 | 富 | 和 | 礼 | 利 | 勝 | 哲 | 光 | 敏 | 恵 | 福 | 可  | 幹 | 雄 |   | 大 |
| 郎 | 詢 | 松 | 男 | 男 | 三 | 明 | 美 | 也 | 一 | 明 | 子 | 雄 | 和  | 雄 | 一 | 敬 | 明 |



## 十二月定例会

## 平成19年度 一般会計

## 補正予算

3,149万円を追加

坂下地内生活排水管工事費 1,994万円

- 栄小プールろ過機改修工事費 ..... 611万円
- 万沢小ひいらぎ樹勢回復調査委託料 ..... 80万円
- 地籍調査地図訂正等測量委託料 ..... 95万円
- 町営住宅解体費（2棟） ..... 73万円
- 校舎強化ガラス取替設計委託料 ..... 47万円

## 一般会計

補正額は、3,149万5千円を追加し、予算の総額は、57億5,944万5千円です。

主な使いみちは、総務管理費、保健衛生費、清掃費、商工費、住宅費、教育費等です。

(賛成・全員)

平成19年12月定例会は12日に開会し、条例の制定8件、一般会計補正予算、特別会計補正予算4件、意見書2件の合計15件のすべてを可決し、14日閉会した。

## 平成19年度 特別会計

## 補正予算

4会計総額 1,879万円を追加

- 中央簡易水道改良費 ..... 968万円
- 万沢簡易水道改良費 ..... 501万円

## 簡易水道

補正額は、1,769万1千円を追加し、予算の総額は、4億8,267万4千円です。

主な使いみちは、営繕費、中央簡易水道改良費等です。（賛成・多数）

## 指定居宅サービス

補正額は、14万円を追加し、予算の総額は、6,938万6千円です。

使いみちは、給与改定等による人件費です。

(賛成・全員)

## 国民健康保険

## 事業勘定

補正額は、12万6千円を追加し、予算の総額は、10億3,153万8千円です。

使いみちは、給与改定等による人件費です。

## 直営南部診療施設勘定

補正額は、11万4千円を追加し、予算の総額は、2億6,071万2千円です。

主な使いみちは、人件費等です。

## 直営万沢診療施設勘定

補正額は、41万7千円を追加し、予算の総額は、7,862万5千円です。

主な使いみちは、修繕料等です。

(賛成・全員)

## 介護保険

補正額は、31万1千円を追加し、予算の総額は、8億6,950万7千円です。

主な使いみちは、居宅介護サービス計画給付費、介護予防サービス給付費等です。

(賛成・全員)

## 総括質疑

**問** 職員給与改正で、勤勉手当5%増額の説明と総額的に差引の部分があると思うが、どれ位の予算変動があるか。

**総務課長** 勤勉手当の財源の措置部分20万円です。一般職給料表の補正前、補正後の金額があり、補正前に比べて約109万円の減額になっていますが、相殺した金額です。

**問** 人事院勧告による給与改定を実施しない自治体もあるとマスコミ報道があった。本町の改定に至った経緯を。

**総務課長** 改定をする理由は、労働基本権の代償措置です。町村会で調べましたが、県内の市町村では実施という状況です。給与改定の特徴は、若年層と少子化対策のための扶養手当の引上げです。

**問** 給与水準で山梨県及び南部町職員給与のラスパイレース指数を聞きたい。

**総務課長** 現在は、一律支給をしています。国の改正等があり、人事考課によって、本来職務給によって支給率が変った形で支給することになっています。町長に指示されていますので、新年度から進めて行きたいと考えています。

**総務課長** 国を100とした場合に、山梨県は99.6で、全国中位であります。

本町は平成18年4月1日現在で92.9で、峡南6町のうち4番目です。

**問** 後期高齢者医療制度になり、75歳以上の保険料の減免措置の対応は。

**町長** 保険料の減免措置は、条例により、災害長期入院のほか、家財の損害、収入の減少など高齢者の救済措置を行います。

**問** 富岡小規模水道で1人1日当り250ℓ使用量が十分か、積算の説明を。

**水道環境課長** 簡易水道施設基準による1人1日当りの最大給水量です。不足はないと思います。一般家庭の80人分です。

**問** 奥山温泉の使用料75万4千円増額の積算は。

**産業振興課長** 1月から3月までの工事による閉鎖もなく通常営業が出来ますので、1,500人分を見込み増額しました。

**問** 主な収入財源の地方交付税2,722万3千円の補正ですが、普通交付税の決定額及び留保分はあるのか。

**財政課長** 普通交付税の決定額は19年度24億9,670万8千円で、今回補正額2,722万3千円を計上、留保分は5,736万2千円です。

**問** 地下内の生活排水管布設で、県道、町道、一部民地へ布設、計573mです。

200mmのVU管で、大堀川に排水し、関係戸数33戸の予定です。

**問** インフォメーションセンター費の仕入代は消耗品費で計上しているが適正か。

**町づくり推進課長** 販売の仕入品を消耗品費で計上してきました。今後は、財政課と検討したいと思います。

**問** 教育費、校舎の強化ガラス取替工事設計委託料の説明を。

**学校教育課長** 校舎は、耐震補強になっていますが、ガラスは普通ガラスを使っています。7校の校舎が各地の防災拠点になると考えていますので、強化ガラスに取り替えるための委託料です。

**問** 富岡小規模水道の取水池が80㎡、配水池220㎡、合わせて300㎡です。

**水道環境課長** 取水池が80㎡、配水池220㎡、合わせて300㎡です。

**問** 学校管理費のひいらぎ樹勢回復調査委託料は。

**学校教育課長** 土壌の現状調査、改良堆肥等に対応するための委託料です。

**水道環境課長** 文京区坂

## 視 察 報 告

## 総務常任委員会

## (1) 期 日

平成19年11月16日

## (2) 研修先

長野県駒ケ根市  
(株)エコーシティー駒  
ヶ岳

自治体による光ファイバー網の敷設整備、開放状況や、地域におけるブロードバンド基盤整備の推進事業を展開している駒ケ根市を中心とした取り組みの経緯と、運営状況等、調査研究を目的に視察研修を実施した。

光ファイバー網の敷設による情報通信事業は、駒ケ根市、飯島町、宮田村、中川村の一市一町二村が加盟し、(株)エコーシティー駒ヶ岳の第三セク

ターにより運営されている。

経緯を見ると、当初は、駒ケ根市において、農協が設置した既設の有線放送電話の老朽化に伴い、有線電話とCATV化の両面で研究し事業化に踏みきった。

事業主体について、市、農協、有線放送組合の三者で活発な議論が交わされた。

市が事業主体の問題点として、情報施設を行政で持つ問題、市の起債枠の問題等が提起された。

また、農協が事業主体の問題点として、農協法により員外利用規定に抵触、全市組織化の問題等により第三セクターを設立し、農林水産省の農業

農村の活性化を計る高密度情報型の事業を導入し、平成5年CATV施設による、CATV・有線放送電話の地域情報化を図った。

平成9年飯島町と業務提携を行い、広域化を進めた。

平成13年設備の高度化を図り、幹線ケーブルを光化にグレードアップ、インターネット、デジタル放送施設を整備し番組制作のデジタル化、イン

ターネット事業、BSデジタル放送を開始した。このグレードアップに

要した経費は11億2千万円であるが、当初からの総事業費は38億500万円で、駒ケ根市24億7,000万円、飯島町13億3,500万円、補助金は両市町合わせて13億3,800万円であった。

で情報通信業務のすべてを(株)エコーシティーが運営している。

行政支援は、駒ケ根市が施設整備の借入金金の二割、運営支援として年間1,000万円を10年間、飯島町が借入金金の61%を負担している。その他実費負担として、広報番組制作が各市町村年間300万円、行政イントラ、各行政週15分番組使用の負担等がある。

CATV等の加入世帯は次のとおりであった。

世帯数2万874世帯に対し、CATV・有線電話9,552世帯、CATV3,962、CATV・有線放送1,426、有線電話465、有線放送21、合計1万5,426世帯で各戸の選択による加入となっていた。

加入率73.9%であった。インターネット加入は3,813件であった。

各種料金は、加入区分により異なるが、おおむね5万円から8万円である、IP電話がプラスさ

れると13万円となっている。月額の利用料金は、2,500円前後である。

インターネットは、加入金1万500円、ビジネスは1万3,000円、月額料金は、パーソナル、ハイパー等が4,000円、ビジネスが1万3,000円となっている。

会社組織は、取締役13名、各市町村長も入っている。

社員は、20名で事務、施設、放送、通信の業務に携わっている。

スタジオ等設備も目を見張るほどであった。

年間の総収入は、おおむね、6億3,000万円で実質黒字が1億数千円あったとの説明を受けた。

今後情報通信施設整備を本町が進めるにあたって特に研究する点は、事業内容、事業主体、運営主体、収支計画等を充分議論し推進することが必要である、と今回の研修で感じた。



目を見はる通信施設



# 土木経済常任委員会

## (1) 期 日

平成19年10月10日

## (2) 研修先

① 国道469号（富士南麓道路）

② 富士山静岡空港建設現場

高速道路の開通、富士山静岡空港の開港、国道469号の整備など、周辺環境の変化とともに、産業経済交流の機会が増大するなか、時代の変化に合わせた町の将来構想の参考に資するため、視察研修を実施した。

## 生活圏域の拡大

① 国道469号は、御殿場市仁杉の国道138号線との交差点を起点に、南部町万沢河内渡国道52号交差点までの富士山東南麓約48kmを結ぶ高規格道路として計画された。産業経済、文化観光等



空港視察

の風光明媚で京浜地帯と直結する道路として、しかも太平洋工業ベルト地帯の富士岳南工業地帯の後背地にあり、そして、東富士の草原、富士サファリパーク、富士山こどもの国、富士山信仰の諸神社、仏閣、大自然の創作した白糸の滝等々を始め、余すことなく富士山の魅

力を観せるルートとして、その間を縫うように通過する、癒しの道、歴史の道でも。産業経済、文化活動の場としても期待され、一部富士宮市山宮から富士市勢子辻のこどもの国間の約10kmが供用され、山梨県分約2kmが改良されている。

富士宮富沢連絡道路約15kmは、平成10年6月、広域道路整備基本計画の見直しにより、地域形成型から交流促進型へ変更になり、芝川町桜峠、富士宮市北山等は、この事業で進め、10年後の中部横断自動車道開通に合わせるとしている。

## 国内外の交流を視野に

② 平成21年3月開港をめざし進められている富士山静岡空港は、管理者が静岡県で、島田市と牧之原市にまたがる190ha、滑走路2,500mの規模をもち、浜松市、静岡市の両政令指定都市で、しかも日本の産業経済の一大集積地の間にあって、中部横断自動車道が完成すれば、さらに南部町からは、大都市を経由せずに90分位で利用できることになり、いま一番交流が盛んな東南アジアの国々とは、さらに身近となり、安定した県民生活、経済

力、産業の物づくり全国第3位、賃金水準が常に上位にあって、生活の豊かさを誇る静岡県民の傘下に位置する南部町は、その恩恵を利活用したり、また、気候、自然環境、観光資源等を生かしながら、さらに第2東名高速道・中部横断自動車道・国道469号の開通で、中京、関西方面からさらに飛躍的に人が流動する

ことが予想され、それに空からも富士山を目指し観光客がやって来るということを考えると、単なる通過点にならないよう基盤整備、交流する場を設け活発にすることが、いま南部町に求められている。

南部町にその将来性があることを知る視察研修であった。



整備された469号（山宮付近）

## 文教厚生常任委員会

## (1) 期 日

平成19年11月6日(火)

## (2) 研修先

- ①大月市教育委員会  
②上野原市教育委員会

①大月市では、小中学校の統合に向けて、適正規模・適正配置審議委員会を立ち上げて検討を重ねた結果、住民の総意が得られ、統合までに至った経過を聞くことができた。

審議委員会は、平成17年8月に発足し、教育委員会の説明と資料に基づき審議されている。

人口の減少とともに少子化も急速に進み、市内の小中学校の児童生徒数にも大きな影響を与えており、これからも加速度的に進むことが予測され、小学校では全学年で複式となる学校、中学校では全教科の教員を配置できなくなる学校が現われるなど、学校規模に格差が

生じることになり、教育の機会均等の観点から問題である。

そこで学校の規模と配置について適正化を図る必要があるため、審議委員会は17年8月から18年3月までに7回開催されている。

小学校16校を5校に、中学校5校を3校に適正規模にすることと、通学区域も考慮し、具体的な

組み合わせをすることにした。

保護者会や地域住民の理解を得ながら問題を解決してきた教育委員会や審議委員会のご苦労が大変であったことが伺えた。

②上野原市教育委員会を訪問した。

平成14年6月に、上野原町立学校等適正化審議会が開催されて、15年3月までに11回開かれた。

その後、約2年間途絶えていたが、それは町村合併の時期で、それから上野原市となり、市教育委

員会として、市立小中学校等適正規模・適正配置審議委員会が再開された。

これまでは、教育委員会として先進地視察や研修会等を実施し、審議委員会は16回ほど開催している。

教育委員会が、市における適正規模・適正配置について考慮した点は、通学距離と通学時間であり、小学校と中学校の適正な学級数なども具体的に示したことである。

また、学校配置再編成の実施については、市民の理解と協力が不可欠であり、保護者、住民、学校・関係団体等と協議を重ねながら推進していくことと、地域全体での取り組みを考慮しているところが、住民に対して大切なことだと思った。

また、各学校の取り組みとして、合唱交歓会や学園祭に参加し合って親睦を深めたりしている。

市議会では、上野原市立小中学校設置条例の一部を改正する条例制定案



町内の中学校

が、文教厚生常任委員会に付託されて審議し、定例会において可決している。

P.T.Aでも、各小中学校役員会が何回か開かれ協議している。

その中で、適正規模のもたらす効果について考え、特に子ども達にとつてのデメリット、教師や保護者にとつてのデメリットは何かなど、問題点を掘り起こしながら、これから21世紀を担う子どもが「生きる力」を身につけるためには、どうする事が大切かを、みんなで

確認し合い、適正規模・適正配置とはどうする事が見えてきたので、平成20年度に向けての取り組みをしていくとのことである。

大月市、上野原市のどちらも山間地域との合併で、学校数も増え、難しい統合問題に取り組んでいると思う。

本町においても、児童生徒数の減少は明らかであり、町民の総意で、適正規模・適正配置を考慮した取り組みが重要であることを強く感じた。



説明を受ける議員



町政も問う

# 一般質問

## 定住化・観光政策・ 情報化の推進整備を



鍋田 幹雄 議員

町長

集合住宅と  
小口の宅地分譲を  
進めたい

(一) 集合住宅と宅地分譲  
地整備を通勤圏が近く、  
富士山が見える国道周辺  
の万沢の地へ。  
(二) ふるさと案内人、ボ  
ランティアガイド員を養  
成し、組織、活動化を。  
(三) 県段階での情報化論  
議の進展並びに連携と町  
長の決意は。  
(四) 南部町も車の富士山  
ナンバーの対象にならな  
いか。4点について伺い  
たい。

(一) 県営住宅等で、若い  
人達で成果をあげ、宅地  
分譲でも町が用意した22  
区画もほぼ完売した。  
担当課でも、定住化の  
ための集合住宅、分譲政  
策を進めて行く方向で検  
討しています。  
(二) 個々には、町の歴史  
遺産、文化、自然等につ  
いて案内をしてくれる方  
がいます。  
町として、体系的に導入  
して行くため検討します。  
(三) 町村会では、平成20  
年度国、県要望として、

県下共通の第一位として  
10月に要請をしました。

内容は、地上デジタル  
放送への対応支援、携帯  
電話通信基礎の整備促進、  
高速インターネット網の  
整備促進、電子自治体の  
推進です。

南部町のオフトーク通  
信施設が老朽化している  
ので、代替施設としてN  
TTには、光ファイバー  
を媒体として強く要請し  
ているところです。

町の情報化政策の一番  
高いところの予算計画で  
すが、補助制度で施設整  
備はできますが、維持管  
理が一番問題です。

オフトーク通信で、年  
間2,000万円以上出  
費しているので、その辺  
を勘案し進めたい。

この情報化推進の問題  
は、新時代に呼応するた  
めの事業だと考えてい  
ます。

(四) ご当地富士山ナンバ  
ーですが、特区事業として  
対象になるかどうか検討  
します。

## 行政改革と 地域ビジョンづくりを



木内 利明 議員

地方分権一括法が制定  
され、国と地方自治体の  
関係が、重要視されてき  
ています。

南部町の確かな町づく  
りを求めて、先進地の行  
政視察を行い、今後の行  
政のあり方について研究  
してきました。

その結果行政経営理念  
を制定し、自治体の組織  
の改革や、役所の組織改  
変の実施や民間活力の導  
入、地域での話し合いや、  
行政と民間との共同事業  
展開の実施等を学ぶこと  
ができました。

そこで当南部町でも、  
これらを参考にして、町  
民参加の地域づくりを基  
本に、住民、自治体、N  
PO、企業へ働きかけて

住民一人ひとりが、この  
地域に住んで良かったと  
実感できる街づくりを目  
指して、各地域ビジョン  
を策定することが大事だ  
と思うが、町長の考えを  
伺いたい。

町長

有識者を招聘し  
ビジョンを

現在町では、消防の一  
部一事業として各地域で  
安心、安

全のため  
の事業に  
対し、補  
助をして  
います。  
これらの  
考え方に  
基づき、  
地域の事  
業として  
将来検討



インター予定地

していききたいと思っています。  
今後国では、限界集落  
解消を考えて、地方の伝  
統文化の継承を重要視す  
る方針が打ち出されまし  
た。町としても伝統行事  
を大事にしていきたいと  
考えています。

南部町では、現在山梨  
大学の花岡教授に依頼し  
て、中部横断自動車道の  
開通を見据えた町の将来  
ビジョンを検討してい  
ます。

引き続き先生に来てい  
ただき将来の南部町のあ  
り方について住民の皆様  
と共に研究し、町づくり  
を進めていきたいと思い  
ます。



## 医師の確保と 指定管理者制度を



佐野 敏明 議員

全国的に医師不足に悩んでいる自治体が多発しています。南部町は幸い医師不足による医療サービスの低下は現在ないが、近い将来は必ず不足が想定されます。

町民の健康は町で守るという強い意志で運営して頂きたい。そこで、医療サービスの恒久を求め、ために、町が医学生を奨学金で養成することは出来ないか。

つぎに、三位一体改革により、財政も交付税の削減保険料の値上げ等により圧迫を受けています。財政負担の軽減のために、町営施設を公的機関や民間に運用して頂く、指定管理者制度導入が出来ないか。

### 町長

#### 町出身の医師に期待

本町の診療所の医療体制は現在、地元医師1名と自治医大卒の医師2名、計3名で診療に当たっていますので、問題はありません。

従って、早急に奨学金制度で養成することは考えていません。しかし、

本町には、町出身の医師が4名町外で活躍しています。その医師に将来、町に帰ってきて診療所に勤めて頂くよう働きかけていきたいと思っています。

2点目の指定管理者制度の導入については、私の公約でもあるので、財政課に指示をし、制度導入のために全ての施設を精査し、12月中までには調査を終え、導入に向けての行動に入る予定です。できれば私の任期中に導入したいと思っています。



町の医療施設

## 安心して子どもが 産める環境整備を



久保田恵子 議員

最近、国の政策は、都会に甘く地方に厳しく感じられます。

特に、医療の面で、新聞やテレビの報道では、医師不足で、特に小児科産婦人科は、大きな問題点をあらわにして報じています。

本町の実情を考えてみますと、南巨摩にはお産を扱う病院は全くありません。

幸い、富士・富士宮には何か所か産院はありますが、いずれも県外であります。

少子化が進むなかで、町でもいろいろな取り組みをしています。町として安心して子どもを産むことが出来る環境を整

えることこそ町の繁栄につながるものと考えます。

そこで私は、次の点について伺います。

(一) 女性が安心して子どもを産むことができる環境整備は。

(二) 町で助産師を確保し産院とのネットワークを組むことはできないか。

### 町長

#### 助産師確保は 前向きに検討

(一) 過日11月14日の「町長と語る会」において、富士宮市立病院が産婦人科を閉じるという質問がありました。病院の方ではそのような事は一切ないということでした。ただ緊急に診てほしいという事だけはお断りするかもしれないとの事でした。

本町では体制ができて

いないのが実情です。

しかし、本町の場合、富士・富士宮の産院の利用者が多いのが実情です。

子どもを産むときには医師だけでなく助産師の手を借りなければできないそうです。

(二) 助産師については前向きに検討して、本町にも助産師がいて、安心して子どもが産める体制をとっていきたく思っています。今は残念ながらありませんので、助産師については検討をしてみたいです。



## 企業誘致と 農地法運用緩和を



佐野 哲也 議員

(一) 都会と地方との経済格差が広がり、地方は活力を失って来ています。町の活性化対策として企業誘致を進めることは重要な施策だと思っています。中部横断自動車道の建設も決定されています。この道路の開通を前提として、早期に取り組みむべきと考えます。

企業誘致は人口の流出を防ぎ、雇用の安定、町の財政を潤すことにもなります。行政が誘致を進める必要があると思いますが、町長の考えを伺います。

(二) 農地法の運用緩和はできないか。

所有権が移転できても10年も経過しないと家が

建てられない現状では、若者達が町外に出てしまっていると思います。

11月現在の人口は9,923人となつてしまい、人口を増やす施策は重要です。

今後中部横断自動車道の建設に伴う代替宅地が多く必要と思います。町長の考えを伺います。

### 町長

#### 土地利用審議 委員会に諮る

(一) 県も企業誘致に向けて活動を始めています。

町も企業誘致をする予定で、土地利用審議委員会を開き、具体的には中野地区の法人所有地、富沢野球場横の財務省所有地を企業誘致の第1候補地として上げました。町に企業が誘致できる

環境が少し整いつつあるかと思っています。

中部横断自動車道の供用開始を見据えながら、誘致する企業、今ある企業も大事にしなければいけないという両面だと考えています。

(二) 農地法の緩和は、農水省、県の会議の都度お願いをしています。緩和されています。

農業振興地域からの宅地転用は厳しい罰則があります。

農用地を活用する中で町づくりをして行きたいと思っています。



財務省所有地

## 臨時会

第4回臨時会は10月31日開会し、補正予算など議案2件の提出があり、すべて可決、同日閉会した。

#### ○一般会計補正

補正額は551万8千円を追加し、予算総額は57億2,797万円です。歳入の財源は地方交付税212万3千円、繰越金339万5千円です。

主な使いみちは、アルファセンター費・ボイラー取替工事費351万8千円、教育委員会費・語学指導助手委託料200万円です。

(賛成・全員)

#### 工事請負契約

○町道楮根南部線改良工事4工区

#### 契約金額

8,557万8千円

#### 契約者

株式会社 峡南組

#### 契約の方法

指名競争入札

## 条例の 制定・改正

期高齢者特別会計の設置が必要となったため。

(賛成・全員)

○南部町印鑑条例の一部改正

○南部町国民健康保険税条例の一部改正

郵政民営化法等の施行に伴い、必要な字句の改正が生じたため。

(賛成・全員)

○南部町職員給与と条例の一部改正

○南部町手数料徴収条例の一部改正

人事院の給与改正の勧告により、国家公務員の給与と規定が実施されるのに伴い、南部町の職員給与と条例の改正を行う必要が生じたため。

(賛成・全員)

○南部町特別会計設置条例の一部改正

○南部町簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正

平成20年度から施行される「後期高齢者医療保険事業」の導入に伴い後

梅島宮農飲雑用水簡易水道の計画給水量の変更に伴い改正する必要があるため。

(賛成・全員)



○南部町簡易水道の設置等に関する条例の一部改正

○南部町小規模水道給水条例の一部改正

内船上区富岡地区の組合水道を町営水道に移管したので、改正の必要が生じたため。

(賛成・全員)

## 山梨県後期高齢者医療広域連合議会報告

平成19年第1回定例会は11月22日開会し、決算認定、条例など提案され原案どおり可決、同日閉会した。

○18年度一般会計の決算は、19年2月から同年3月までの決算認定です。歳入総額1,921万

円、歳出総額1,913万円で差引8万円です。

歳入は設立準備に係る国庫補助金、28市町村の負担金です。

主な使いみちは会議室の改修工事費、事務机等購入費となっています。

○19年度一般会計補正予算は歳入歳出1万2千円を減額し、総額3億5,538万4千円です。

実績に合わせて予算更正を行った減額です。

○後期高齢者医療に関する条例の制定は平成20年4月より開始される、75歳以上の後期高齢者を対象とし、新たな医療制度実施に向けた保険料等必要な事項を定めた条例です。



健康増進に務める町民

## 峡南広域行政組合報告

平成19年第3回臨時会は12月26日開会し、専決処分、補正予算など原案どおり可決して会期1日をもって閉会した。

### ○専決処分

一般会計補正予算は、3,000万円を追加し、総額を16億1,534万4千円とした専決予算です。主な使いみちは、緊急を要した養護施設慈生園の給湯大型ボイラー取替工事です。

### ○介護保険特別会計補正

補正額は1,384万1千円を追加し、総額2億4,943万4千円です。主な使いみちは、介護保険安定化基金積立金1,138万6千円、通所介護運営費の賄材料、職員の異動等による人件費の更正です。

## 議会の動き

|        |                           |            |
|--------|---------------------------|------------|
| 10月    | 25日(木)                    | 町地域情報推進委員会 |
| 29日(月) | 町議会議広報編集委員会               |            |
| 30日(火) | 長研修                       |            |
| 31日(水) | 議会第4回臨時会                  |            |
| 11月    | 1日(木)                     | 広報編集委員会    |
| 2日(金)  | 視察研修                      |            |
| 4日(日)  | 南部町民文化祭<br>「芸能発表会」        |            |
| 6日(火)  | 議員行政視察研修                  |            |
| 13日(火) | 南部町戦没者慰霊祭                 |            |
| 14日(水) | 財務行政講演会                   |            |
| 15日(木) | 町体協ゲートボール大会               |            |
| 16日(金) | 議員行政視察研修                  |            |
| 19日(月) | 町議会議広報編集委員会               |            |
| 21日(水) | 町議会議運営委員長会議               |            |
| 22日(木) | 例月出納検査                    |            |
| 26日(月) | 監査委員協議会第3回<br>理事会         |            |
| 28日(水) | 県後期高齢者医療広域<br>連合議会定例会     |            |
| 29日(木) | 町議会議広報編集委員<br>長会議         |            |
| 30日(金) | 市町村自治講演会                  |            |
| 12月    | 30日(金)                    | 平成19年度定例監査 |
| 3日(月)  | 町議議会議長全国大会                |            |
| 4日(火)  | 議会議運営委員会                  |            |
| 12日(水) | 議会議第4回定例会開会               |            |
| 14日(金) | 第1回広報編集委員会                |            |
| 16日(日) | 文教厚生常任委員会                 |            |
| 18日(火) | 議会第4回定例会閉会                |            |
| 20日(木) | 中部横断自動車道<br>増穂六郷間起工式      |            |
| 21日(金) | 町営バス運営協議会                 |            |
| 25日(火) | 例月出納検査                    |            |
| 26日(水) | 町水道委員会                    |            |
| 1月     | 2日(金)                     | 第2回広報編集委員会 |
| 5日(土)  | 峡南広域行政組合議会<br>公務災害補償等組合議会 |            |
| 6日(日)  | 南部町成人式                    |            |
| 7日(月)  | 南部町出初式                    |            |
| 10日(木) | 第3回広報編集委員会                |            |
| 11日(金) | 県町村議議長会新年互礼会              |            |
| 16日(水) | 第4回広報編集委員会                |            |
| 16日(水) | 町老連新年互礼会                  |            |
| 16日(水) | 第5回広報編集委員会                |            |

## 町民の広場

### 議会を

### 傍聴して



佐野 玲子  
(南部区昭和町上)

12月議会を見学させていただきました。9時30分定時開会。先刻迄のここに顔の議員さん達、一様に厳肅なお顔で着席。向いには町長さん始め町の全ての課の役職方が質問に答えるべく着席。傍聴の私達も緊張の刻でした。

順次5人の議員の質問、町長や担当課長の応答と野次一つ無く坦々と進みました。中で関心が高かった、将来予測される町の医者不足対策についてを聞きながら少し掘り下げて考えました。私も常々「南部の診療所に今後もずっと自治医大から医者

を派遣してくれるのかしら。」と心配していた所なので答弁を興味深く聞きました。

町長の考えは「現在南部町出身で都会で働いている医者の中から、できたら町内に帰って働いて下さる人がいるか交渉をする、その意志のある方もいる様だ。補助金制度等設けるのも良いが非常な時間とお金がかかる事なので、先づ交渉の方向で鋭意努力する。」との事。聞いていてそれが一番近道かな、実現すれば本当に嬉しいと思いました。

幸いにも本町には開業医がおられます。その先生方に平生より自分の体を知っていただき、いざという時は専門外ならそちらへ迅速に紹介してもらおうという私達も心がけるべきかと思っています。産科にも同じ事がいえると思います。町長も言われておりましたが県は違っても早期より受診していれば緊急の場合も拒否されることはないだろうし、また、

生まれた赤ちゃんの将来的にも医事相談に乗ってくれるのではないか、自衛手段としてもそうしておくことが肝心という気がします。

こんな報告と共に私の

### 議会を 傍聴して



安藤 節子  
(富士見区御屋敷)

12月定例議会を女団連18名で傍聴しました。静けさと爽やかさがあり、また、緊張感のある議場で議長さんの宣言により開会されました。町の総てを愛しておられる町長さんの町の近況を伺い感謝でありました。議員さん方5名の一般質問でした。真剣そのもので同感でした。

身近な問題の少子化に関する一つの手立てとし

思いをも、少し述べてみました。いずれにしても議員さんや町当局の、南部町のことについて真剣に考えて下さっている志を強く感じ感謝の心で一ぱいでした。

て、安心して出産できるための対応等、町として、また、郡下にも産科がないことにつき質問され、さすが女性であればこそ…と感動しました。

しかし実際はどうでしょう。最近耳にしたことですが、甲府の病院で1月出産の予定の女性が実家へ早く行くことになること。町の対応、郡としても大切なことであると思います。

命の大切さを思う時、危険が生じた場合、世の中はすぐ訴訟問題となります。この答弁は大変厳しいことと痛感しました。町の人口

は9千人を少し上廻っているだけの現状ですが、人口の増を思う時、自己の所有地を宅地にする場合も3年4年も必要とするようです。

県がおし付けていることを何んとか打開して行けないものかと思えます。若者は待てずに都会に住むことを望むのは当然かとも思います。

小さな町に感謝のこともあります。それは、良い診療所があることです。医師の定着を心配される質問もありました。

半日の傍聴の中で議員ならびに役場の方々に心より感謝しつつ退場しました。



診療所

## 編集後記

▼ミートホープ・比内鶏・不二家・赤福・お福・吉兆、みんな偽装だった。国民を騙して商売とは、開いた口が塞がらないとはこのことだろう。京都清水寺で毎年暮れに発表する漢字一字、今年は「偽」と決定。20年は国民が安心して食べる事が出来る社会であってほしいものです。

▼12月議会是一般会計補正予算3,149万5千円追加。主な使いみちは、生活排水工事業費、環境RDF破碎機修理費、栄小プールろ過機改修工事代、万沢小ひいらぎ樹勢回復調査費等です。

また、条例改正8件特別会計4件、補正予算4会計とも全て可決決定。

▼平成20年は町民の皆さまにとって、喧嘩から離れた静けさの中で幸せを求められたらいいですね。

お祈り致します。